

令和7年度 第1回 学校運営協議会議事録

日 時 令和7年6月24日(火) 15:30～17:00

場 所 本校同窓会館

参加者	委員	東崎 康嘉	近畿大学 理工学部 教授
		川野 充信	八尾商工会議所 事務局次長
		正木 猛司	同窓会長 正木建設株式会社 代表取締役会長
		好田 友希	令和7年度 PTA 会長
	事務局	川崎 哲也	教頭
		奥野 秀樹	事務長
		佐伯 陽介	首席
		千田 充弘	首席
		吉岡 郁美	首席
		笹山 秀樹	機械系長
		杉本 岳久	電気系長
		渡邊 千佳	建築設備系長
		芦田 和光	教務部主任
		近藤 智也	教務部 ICT 担当
		前田 卓哉	教務部 PTA 顧問
		藪田 大輝	生徒支援部主任 生徒指導主事(代:宮北 宗典)
		山崎 恵美	生徒支援部 保健指導主事
		小島 大亮	生徒支援部 生徒会
		河内 康朗	進路指導部 進路指導主事(代:川村 拓也)
		西本 貴博	3 学年主任
		圓道 慶	2 学年主任

◆1 校長挨拶

◆2 委員紹介

◆3 事務局紹介

◆4-1) 学校経営計画

1、確かな学力と社会に向かう力を育成する学校

- ・コミュニケーション能力プレゼンテーション能力育成する授業を推進する。
- ・観点別評価にあわせた授業内容改善の取組を実施する。実技を伴う科目に注力する。
- ・学びなおしが必要な生徒に対する個別の学習指導を行う。
- ・インターンシップ、デュアルシステムを実施し、地域産業との連携を定着させ、東大阪みらい工科への引継ぎを推進していく。

- ・企業連携による出前授業や講演会を実施する。

2、生徒一人ひとりを尊重し人間せ豊かなエンジニアを育成する学校

- ・生徒との信頼関係に基づいた生活指導に努める。
- ・生徒の居場所づくりの推進、SC・SSW と連携しながら課題の早期発見に努める。
- ・生徒会活動を支援、生徒全員が主体的・自律的な活動ができるようにする。

3、安心安全で魅力ある学校

- ・安心安全な高校生活のためのアンケートを実施するとともに、支援人権相談会議を定期的に開催し、生徒の状況把握、情報共有を図る。
- ・働き方改革、校務運営の効率化を図る。
- ・生徒数が減少するなかではあるが、創意工夫しながら PTA 活動を継続する。
- ・東大阪みらい工科と連携し、ショッピングモール等での工科 PR 活動及び生徒の有用感の場として継続していく。

◆トピックス

- ・体育祭 プログラムの工夫、主体的に参加の様子
- ・実業 PTA 総会 表彰、後援会
- ・2 年生企業説明会 学校で体験、写真にて参加の様子
- ・3 年生万博 学年まとまって参加、写真にて参加の様子
- ・実業万博へ向けて（7 月 30 日）一大屋根リングの模型製作他

◆4－2）教科書選定

6 月 11 日第 1 回選定委員会

6 月 27 日第 2 回目選定委員会で決定

◆4－3）各セクションから報告

◆【ご助言・質疑応答】

- ・3 年生が引退した後の部活動については、布施高校との連携で、バレーボール部は合同練習を行っている。また、サッカー部は、八尾北と合同チームを形成して活動している。ラグビーは東大阪みらい工科へ継承の為、公式戦においても合同で参加している。他のクラブにおいても合同チームを形成し、生徒が活動できる環境を維持する。
- ・学びなおしの必要な生徒への指導については、年 2 回の基礎力診断テスト後の学びなおし指導を実践する予定。
- ・デュアルシステムの実践で生徒の成長を感じる。本人や会社にとっても良い授業に感じる。
- ・入学生がいない中ではあるが、体育祭の運営においても工夫があり、生徒たちが意欲的に取り組んでいるようにみえる。
- ・社会においてコミュニケーションの取り方が変化してきているように感じる。学校生活の中で、しっかりとコミュニケーションのとりかたを学ぶことは大切だと思う。
- ・2・3 年生だけでの体育祭の開催に対する不安はあったが、それを払拭する内容や盛り上がりがあり、保護者としてもとても楽しかった。なかでも、玉入れは工夫があり観ていて

面白かった。

- ・来年度、3年生になった時に、行事の不安があるので、PTAとも協力体制をとりながら生徒たちが寂しい思いをしないように企画運営をお願いします。